

The Women's Studies Association of Japan

学会ニュース

日本女性学会
第 165 号 2026 年 2 月

発行 日本女性学会
事務局 〒 020 – 0124
岩手県盛岡市厨川 4 丁目 13 番 8 号
E-mail jyoseigakkai-info@genj.jp
ウェブサイト <https://joseigakkai-jp.org/>
頒価 一部 300 円

目 次

次回大会予告	1	会員の著書紹介	4
大会シンポジウム趣旨	2	会員の著書紹介募集	4
個人研究発表・パネル報告・		日本女性学会 2026 年度	
ワークショップ募集	3	「少額研究活動支援」対象者募集	4
書籍販売ブース申込のお知らせ	3	会費納入のお願い	5

2026 年度日本女性学会大会予告

6 月 19 日（金）18:00 ~ 19:30（予定）：プレ企画 「映画「5 月の雨」を見る会」

6 月 20 日（土）13:00 ~ 16:30（予定）：大会シンポジウム、総会、懇親会

「ジェンダー支配の温床となる近代的婚姻を残した社会（現代的家父長制）、
それを超えた先には何が？（仮題）」

6 月 21 日（日）9:30 ~ 15:00（予定）：個人研究発表、パネル報告、ワークショップ

会場：名古屋大学 東山キャンパス アジア法交流館

愛知県名古屋市千種区不老町

■地下鉄名城線 名古屋大学駅から徒歩 1 分 *宿泊は各自で手配して下さい。

共催：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ、名古屋大学大学院人文学研究科

大会シンポジウム趣旨

「ジェンダー支配の温床となる近代的婚姻を残した社会（現代的家父長制）、それを超えた先には何が？（仮題）」

社会におけるジェンダーの不平等を考えるとき、現在にいたっても婚姻や家族が介在することによって女性が男性の支配下に置かれ、私的領域に閉じ込められる構造（近代的家父長制）があることを抜きには論じられない。今日の婚姻は、「愛し合った二人が一緒に住んでいる」とはイコールではない、＜様々な社会的関係のシステム＞として構築されている。性関係／生殖の社会的承認（社会の性的秩序を作るもの 現在は異性愛かつモノガミーかつ法律婚）、生計の単位、扶養やケアの義務、子どもの養育の責任。このような婚姻に対して、フェミニズムの観点からは、性別分業により女性が婚姻に入らないと生活していくこと、そして婚外子

への差別や夫婦同姓など婚姻制度が内包するジェンダー支配や差別を問題としてきた。また、現在日本でも「同性カップルが結婚できることをめざす（婚姻の自由をすべての人に）」運動の訴訟が展開され、その行方が注目されている。では、婚姻をどうとらえていくべきなのか、どうなっていくのか、どう変えていくべきなのか。

本シンポジウムでは、女性の貧困、婚姻の外で女性が生活できない社会、世界各国の同性婚やパートナー制度導入の実態や運動は何を目指すのか、「純粋な関係性」の落とし穴（DVとポスト・セパレーション・アビューズ）などの観点から、この問題を考えていく。

シンポジスト：大矢さよ子（わくわくシニアシングルズ）、大島梨沙（青山学院大学）

北仲千里（広島大学／全国女性シェルターネット）

司会／コーディネーター：北仲千里 細谷実

前日の夕方にプレ企画として、映画「5月の雨」を見る会を持つ予定です。「5月の雨」は、精神的DVとポスト・セパレーション・アビューズ（PSA）を取り上げた映画です。



子どもの未来を守れ

個人研究発表・パネル報告・ワークショップ募集

・締め切り：3月31日（日）24時

・応募資格：申込時に入会の申し込みを完了していること

・応募方法：カテゴリー（個人研究発表、パネル報告、ワークショップ）ごとに、以下のそれぞれのURLから、フォームに必要事項をご記入の上、ご応募ください。

◎個人研究発表：発表タイトル、発表者名（所属）、要旨（300字以上400字以下）

<https://forms.gle/EM8UuEBkKdanNSPy8>



◎パネル報告：パネルタイトル、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、

各発表タイトル、各要旨（300字以上400字以下）、司会者名（所属）

<https://forms.gle/4aAC8xbSaxMqoABw9>



◎ワークショップ：テーマ、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、

概要（300字以上400字以下）

<https://forms.gle/BEh7VnTdmpvMXaV87>



* 入力ができない場合、事務局にご連絡ください。事務局は、jyoseigakkai-info（アットマーク）genj.jpです。

* すべての個人研究発表、パネル報告、ワークショップは、「学会活動の自由と公正のための宣言」(<https://joseigakkai-jp.org/category/appeal/>) のもとで行われます。

* トラブルが生じた場合の検証のため、各分科会の担当幹事が申請者とのやりとりに関する記録を保存し、分科会を録音や動画で記録します。

* 個人研究発表は、ひとつの分科会で、複数の方に発表していただきます。発表の組み合わせ等は幹事会で決定します。

* パネル報告は、共通するテーマの3件以上の研究発表で構成してください。公平な時間配分と十分な質疑時間の確保にご留意ください。

* ワークショップは、参加者との共同作業でテーマを発展させていく取り組みで、研究発表とは性格の異なるものです。原則として複数の発表者が分科会全体（2時間程度）を担当していただきます。

* 発表者、コーディネーター、司会は会員に限ります。応募の際にご確認ください。非会員の方は応募時にご入会ください。

* 個人研究発表・パネル報告・ワークショップをされる方で、学生、院生、OD等、常勤職についていない方には、学会より旅費の補助を行います（総額10万円を人数と距離等を勘案して配分しますので、補助金額は未定です）。希望される方は、報告申込の際に、その旨記載ください。

書籍販売ブース申込のお知らせ

学会会場にて、書籍販売ブースの設置を希望される方は、こちらのフォームにご記入願います。

後日、担当者より連絡させていただきます。

<https://forms.gle/kxNWGykmo63uHJ1XA>



会員の著書紹介

*菊地夏野『ポストフェミニズムの夢から醒めて』青土社、2025年9月

—会員の著書紹介募集—

以下のルールで会員のみなさまの著作を紹介します。掲載ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

- ・会員が執筆・編集している単行本（分担執筆含む、雑誌をのぞく）
- ・1年以内の発行物
- ・ご本人の申し出があったもの
- ・寄贈は条件としない
- ・寄贈いただいたもので会員の著作と判明したもの

日本女性学会 2026 年度 「少額研究活動支援」対象者募集

日本女性学会では、「少額研究活動支援」により、常勤ないし正規雇用契約をもたず、研究財源の確保に困難をかかえている会員の研究活動を支援しています。

下記の通り、2026年度の支給対象者を募集します。ささやかな活動ですが、ぜひ活用ください。

内容：対象者の日本女性学会の趣旨に沿った活動に対し、1人あたり3万円の研究活動支援金を支給する。

対象：2026年4月1日以降に常勤ないし正規雇用契約をもたない会員10名

応募要件：

- (1) 前年度（2025年度）までの会費が納入されていること
- (2) 日本女性学会会員の会費区分 6,000円の者
- (3) 常勤ないし正規雇用契約下にないこと
- (4) 日本学術振興会特別研究員でないこと

ただし、本研究活動支援金の支給は一人あたり3回までとする。

応募方法：日本女性学会ウェブサイトに備える応募用紙により日本女性学会事務局宛 郵送

送付先：日本女性学会事務局 〒020-0124 盛岡市厨川4-13-8

応募締切：2026年4月19日（日）着分まで

*詳細および応募用紙は、「少額研究助成実施要項」のページ

*なお、報告書の〆切は 2026年6月末です。提出された報告書はホームページに掲載します。

会費納入のお願い

- 2024 年度までの会費が未納の方は、どうぞお早めにお支払いください。会費納入のお願いと払込用紙はすでに送付しております。払込用紙をなくされた方は、郵便局備え付けの払込用紙をご利用のうえ、下記の納入先までお振込みください。

ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号 00890－6－31306

加入者名 日本女性学会

- ネットバンキングでも納入できます。

ゆうちょ銀行 支店名：089（ゼロハチキュウ） 預金種目：当座 口座番号：0031306